

平成30年3月



税法学原論研究会 第7回のお知らせ

東京青年税理士連盟
会長 鈴木 茂和
研究部長 阿部 寿男

皆様、こんにちは。税法学原論研究会 第7回を下記要領で開催します。
今回のメインテーマは、**租税の立法過程**です。

毎年行われる税制改正の内容はどのようなプロセスを経て決定されているのでしょうか？政府税制調査会、与党税制調査会、財務省主税局、国会などは、それぞれどのような役割を果たしているのでしょうか？税制改正に関する各方面からの要望（私たち青税の要望を含む）はどのように位置づけられるのでしょうか？

そして、私たちの仕事や生活に大きな影響がある租税の立法過程をより透明なものにしていくためにはどうしたらよいのでしょうか？皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

税法学原論研究会は、北野弘久先生著『税法学原論』を査読のうえ、チューターが発表、オブザーバーがアドバイス、そして参加者が意見や考えを出し合う勉強会です。終了後の懇親会は、会員同士の情報交換の場でもあります。皆様のご参加をお待ちしております！

記

日 時 : 平成30年5月18日(金) 18:40~21:00
場 所 : 東京税理士会館(下記地図参照)
チューター : 伊藤 経之 会員
オブザーバー : 小池 幸造 会員(税理士、元静岡大学教授、元全国青税会長)
対 象 : 会員・準会員
内 容 : 税法学原論第7版

第9章 租税の立法過程

第11章 税務行政機構

参加費 : 500円(資料代)

☆新合格者は無料です！

(今後の開催予定:前半)

	開催予定日	章 テーマ
7	5月18日(金)	9 租税の立法過程, 11 税務行政機構
8	6月 日	12 税法の解釈と適用
9	7月 日	13 租税法関係の性質

*開催日は毎月10日前後を目安に日程を調整し、個別にご案内します。



なお、当日、テキストの『税法学原論』第7版を定価4,320円(税込)のところ、3,500円(税込)で販売致しますので、お持ちでない方はこの機会にぜひご購入ください。